

2025
8月号
Vol.117

や わ た は ま

この社協だよりの発行には、赤い羽根共同募金の
配分金が財源の一部として活用されています。

社協だより

[発行] 社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会

八幡浜市松柏乙1101番地 八幡浜市保健福祉総合センター2階

TEL 0894-23-2940 FAX 0894-23-0506



八幡浜市社協の各種SNSはこちら



Instagram



Facebook

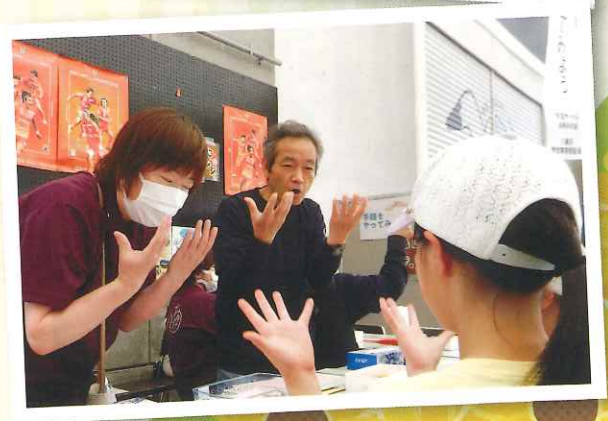


公式LINE



ホームページ

「第37回福祉のつどい」 を開催しました



今年も多くの
団体の協力を得
て、幅広い世代
の方にご来場い
ただき、たくさ
んの笑顔に出会
いました。

今回のテーマは「出会いふ
れあい 笑顔と感謝」共に生き
よう、すべての人と」。実
行委員会などで協議を重ね
ながら、交流や体験を通し
て参画する団体の想いや活動
を啓発すると共に、地域の方
々や団体間の繋がりをさらに深
める機会となるよう、準備
を進めました。

令和7年6月1日（日）、新
町ドームと新町商店街アーケ
ードにて「第37回福祉のつどい」
を開催しました。
会場には、販売や体験コー
ナーを主とした24のブースが並
び、ステージでは9つの団体の
方々が歌やダンスなどで会場を
盛り上げてくださいました。





第2回実行委員会の様子

「福祉のつどい」は、平成元年より開催しており、今回で37回目を迎えました。「ボランティア」「福祉」という言葉を地域の方に広めることから始め、毎年各団体・機関・地域の方々とは協働しながら開催しています。

今年の「福祉のつどい」は、開催当日に向け、2回の実行委員会を実施しました。今回の実行委員会は42名。八幡浜市内で活動しているボランティア団体や教育機関、福祉サービス事業所などのメンバーが集まり、開催に向けた協議を進めてきました。



八幡浜中学校生徒によるお菓子の袋詰め

事前のサポート

「福祉のつどい」は、実行委員はもちろん、実行委員以外の方々からのご協力・サポートも得て成り立っています。今回も、机など大型備品の運搬や搬入、音響機材のセッティング、看板の取り付け作業、お菓子の袋詰めなど、ご紹介できないほど多くの形で、様々な方にご協力いただきました。

ステージプログラム

ステージでは、14のプログラムを実施しました。オープニングは、6年ぶりとなる川之石高校書道部による「書道パフォーマンス」。迫力がありながら、繊細な動きで会場は感動の渦に巻き込まれました。



アーケードの様子

キッズダンスやコーラスなどもあり、多くの団体が会場を盛り上げました。

販売・体験ブース

今年は、販売と体験を合わせて24のブースを設けました。

コロナ禍以後初出店の団体や、例年と違う内容で出店した団体など、今年も各団体が、来場者に楽しんでもらえるよう工夫を凝らしたブース出店となりました。来場者は点字や車いすなどを体験したり、食べ物や手作り品を購入したりと、それぞれ楽しんでいる様子があり、会場内にはたくさんの笑顔があふれていました。



手話コーラスに合わせて手話をする来場者



点字名刺作りコーナー

ご来場、ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

防災セミナー

八幡浜と南海トラフ巨大地震

令和7年6月4日(水)、八幡

浜市文化会館ゆめみかん2階サブホールにて、『八幡浜と南海トラフ巨大地震』土地の成り立ち・被災の歴史を学び、今地域で備えるべきことを考える』と題したセミナーを開催しました。当日は総勢173名が集い、会場いっぱい参加者と共に学びを深めることができました。

今回のセミナーは、愛媛大学の准教授2名をお迎えし、南海トラフ地震について学ぶと共に、八幡浜市における防災について考えるヒントをいただくことを目的に、開催しました。



会場を埋め尽くす参加者の皆さん

講義1『八幡浜市の土地の成り立ちや災害史から学ぶ』

前半は、愛媛大学 地域協働推進機構 特定准教授の大本敬久氏より、ご講義いただきました。

地震のメカニズムにもふれつつ、過去に愛媛県・八幡浜市が被災してきた地震の歴史を丁寧にお話いただきました。南海トラフ地震はこれまでも繰り返し発生しています。100年前後の周期で起こり、現在は直近発生昭和南海地震(1946年)から79年が経過しています。国が示す今後30年以内に80%程度の確率で発生するという想定の一に、歴史



歴史的観点から防災を語る 大本 敬久 氏

的事実があることが分かりました。

その他、宝永南海地震(1707年)、安政南海地震(1854年)についても古文書などを基に被害状況をお話いただきました。海に面した土地柄津波被害もありましたが、当時被災した湾岸は長い年月をかけて埋め立てられており、そこに多くの人が暮らしています。過去の災害に目を向け、今どのような被災リスクがあるのか、「まち歩き」などを通して理解することの大切さを学びました。

講義2『南海トラフ地震新想定と地域防災への備え』

後半は、愛媛大学 防災情報研究センター副センター長 社会共創学部 准教授の二神透氏より、令和7年3月末に国から示された南海トラフ地震の新想定を踏まえながらご講義いただきました。

平成25年時想定と比較して、全体的には死者数が減少していますが、愛媛県では倍増すると示されました。国の想定を受けた愛媛県の取りまとめは現在進行中ですが、その要因は何なのか、現時点でお伝えいただける情報を分かりやすくお話いただきました。

また、火災によるリスクや避難に要する時間を可視化できるシステムについてもご紹介いただきました。

した。避難については、特に障がい者福祉に携わる関係者が関心を寄せていました。

そして、普段使っている物やサービスを災害時にも役立つようにする「フェーズフリー」や、非常持ち出し袋や備蓄品の準備、家具固定などの大切さを語っていただきながら、地震・津波にどのように備えるべきかを教えていただきました。

この研修会の様子は、YouTubeで配信予定です。これから市民の皆さまと共に、八幡浜市の防災・地域福祉活動について考えていきます。



新想定や防災について語る 二神 透 氏

令和6年度 八幡浜市社会福祉協議会 事業報告（一部抜粋）

地域福祉を推進する中核的な団体として、地域住民及び福祉組織・関係者との協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進することを使命とし、令和6年度の事業を推進した。

事業の実施状況

A 法人経営の基盤整備の推進

- 理事会等各種会議の開催
- 地区社会福祉協議会の組織の充実と活動支援
- 各種法令に基づく諸規定の整備及び適宜改正
- 情報管理の徹底
- 専門職と顧問契約を締結し、適切な運営の実施
- 財源の適正化と事務の合理化
- 資格取得支援
- 社会福祉士実習の受入
- 住民のつどい・交流の場づくり

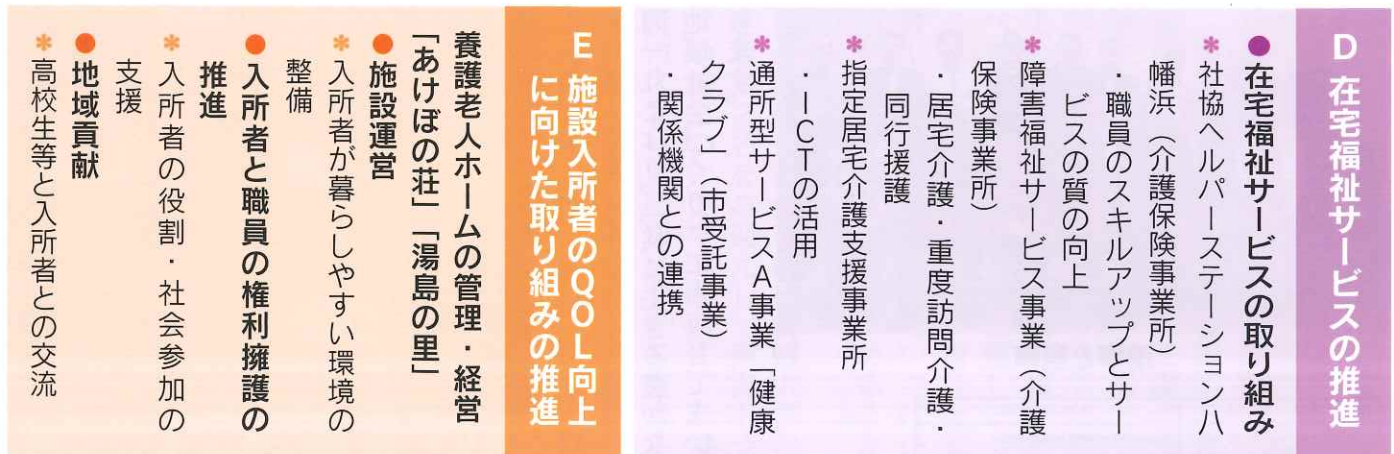
B 地域福祉活動の推進

- 地域福祉活動の推進・強化
ふれあい・いきいきサロン事業
- ふれあい子育てサロン事業
- 独居高齢者等見守りネットワーク事業
- 住民による暮らしの支援、市社協による地区社協への支援
- 地域住民・関係機関・支援者・支援を要する方が集える拠点整備
- 八幡浜市社会福祉大会の開催
- ボランティア活動の推進
- ボランティアセンターの運営強化
- 八幡浜市ボランティア協議会の活動支援
- 各種ボランティア養成講座・研修会の開催
- 第36回福祉のつどいの開催
- ボランティアグループへの情報提供・支援・育成
- ボランティア保険への加入促進
- 福祉教育と子どもの権利擁護推進
- 学校と社協と当事者・地域住民とが連携した多様な福祉教育の推進

C 権利擁護の推進

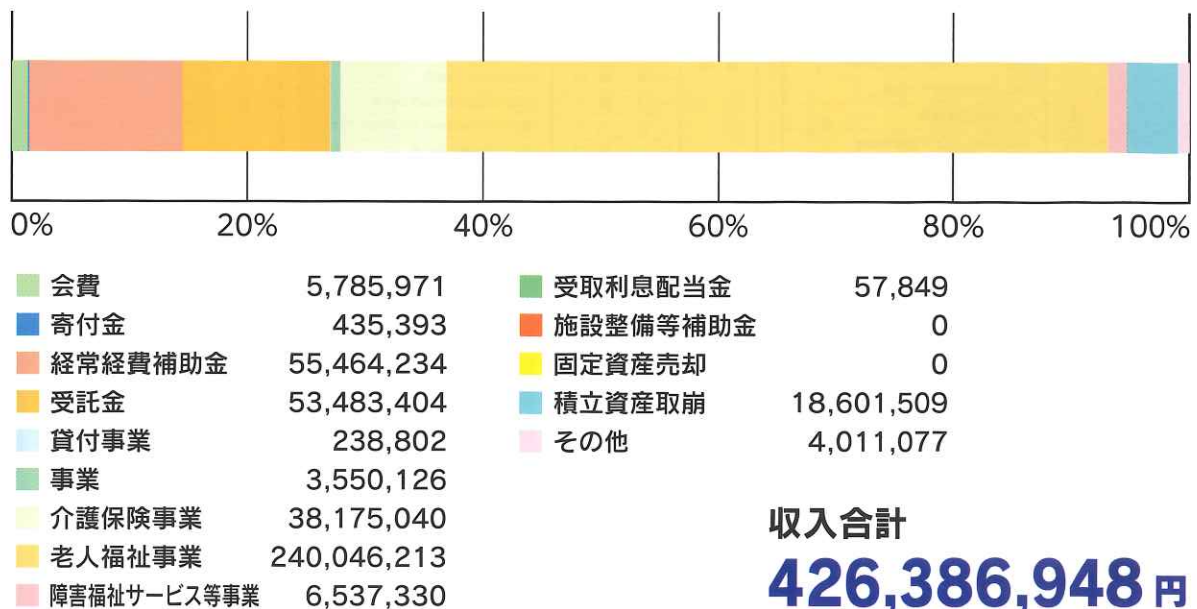
- 共同募金運動の推進協力
- 募金活動や配分金の周知活動
- 赤い羽根チャリティパーティーの開催
- 子どもと保護者に関する福祉及びひとり親世帯への福祉の推進
- 青少年健全育成への支援
- 子育て支援・教育機関・PTAとの連携
- 障害者（児）福祉の推進
- スポーツ・文化・芸術交流会事業の実施（市受託事業）
- 生活支援体制整備事業の推進
- 生活支援コーディネーター事業の推進（市受託事業）
- 社会福祉関係・団体との連携強化
- 八幡浜市権利擁護センター事業の運営（市受託事業）
- 初回相談66件
- 福祉サービス利用援助事業の推進（県社協受託事業）
- 法人後見事業の実施（受任9件）
- 福祉サービス利用援助事業の実施（契約16件）
- 成年後見制度等に関する広報・普及（市受託事業）

- 調査や関係機関との連携（市受託事業）
- 中核機関・広域化の検討
- 生活支援・相談活動の充実
- 生活福祉資金貸付の活用
- 特例貸付利用者へのフォロー
- 小口貸付事業の実施
- 心配ごと相談所事業の実施（市受託事業）
- フードバンクの運営・フードパントリーの実施
- 地域福祉活動団体、子ども食堂等へ食糧のお届け
- 八幡浜市生活困窮者自立支援制度への取り組み（市受託事業）
- 自立相談支援事業の実施
- 障害基礎年金支援
- 無料相談会の実施
- 家計改善支援事業の実施
- 家計票の作成支援
- 就労準備支援事業の実施
- 障害者就労支援事業所同行
- 歳末たすけあい義援金配分との連携
- 農福連携
- 地域福祉活動及び関係機関・市役所との連携
- 地域住民・関係機関・支援者・支援を要する方が集える拠点整備

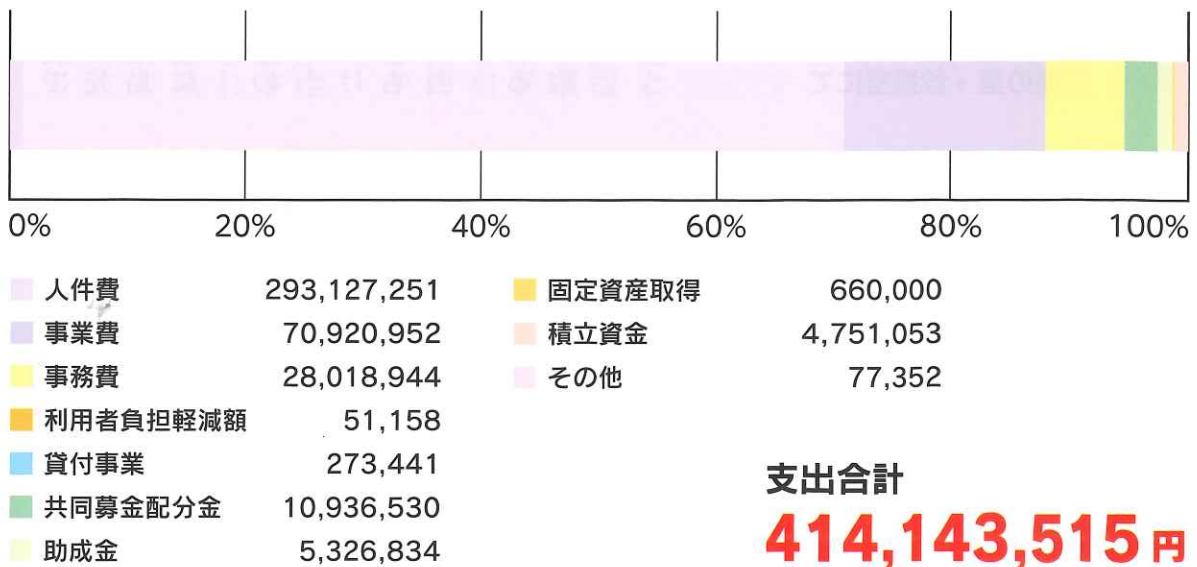


令和6年度 八幡浜市社会福祉協議会 決算報告

収入



支出



市社協新たな体制で地域福祉を推進します

令和7年6月13日より、市社協は新たな役員で、引き続き、八幡浜市の地域福祉を推進することになりました。

役員の任期は、令和8年度会計決算に係る定時評議員会の終結の時まで、評議員会の任期は、令和10年度会計決算に係る定時評議員会の終結の時までです。

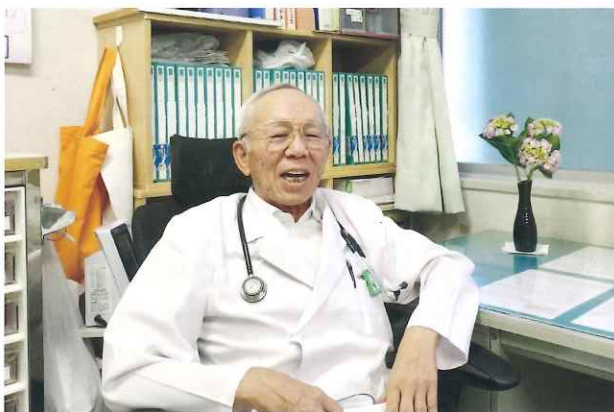
山崎利夫(新)会長、菊地千鶴副会長・徳島守副会長、役職員一同一丸となり、「共に生きる豊かな地域社会づくり」に寄与してまいります。



理事と監事

役職名	氏名	所属役職名
評議員	上田 浩志	白浜地区社会福祉協議会会長
	宮岡 昭吉	千丈地区社会福祉協議会会長
	紙田 浩	神山地区社会福祉協議会会長
	井上 浩	双岩地区社会福祉協議会会長
	石崎 久次	真六・大島地区社会福祉協議会会長
	菊池 彰	日土地区社会福祉協議会会長
	清家 信孝	喜須来地区社会福祉協議会会長
	平家 恭治	宮内地区社会福祉協議会会長
	永井 孝志	磯津地区社会福祉協議会会長
	岡 晋一	八幡浜市民生児童委員協議会理事
	脇水 宏	八幡浜商工会議所専務理事
	菊池 健	八幡浜市小中学校長会会長(富内小学校)
	新宮 康史	市議会民生文教常任委員会委員長
	明礼 英和	八幡浜市保健センター所長
	梶原 一樹	八幡浜医師会事務長
	和田 泰則	八幡浜市老人クラブ連合会会長
	谷脇 節子	八幡浜市連合婦人会会長
	菊池 久枝	八幡浜市母子寡婦福祉連合会会長
	西園寺 純一	八幡浜心身障害者(児)団体連合会会長
	二宮 将栄	一般社団法人 八幡浜青年会議所理事長

役職名	氏名	所属役職名
会長	山崎 利夫	学識経験者
副会長	菊地 千鶴	八幡浜市女性団体連絡協議会会長
	徳島 守	八幡浜市民生児童委員協議会会長
常務理事	菊池 益夫	八幡浜市社会福祉協議会常務理事
理事	都築 真一	江戸岡地区社会福祉協議会会長
	上田 尚	松原地区社会福祉協議会会長
	都築 修蔵	川上地区社会福祉協議会会長
	吉岡 由進	川之石地区社会福祉協議会会長
	猪石 壮	八幡浜市ボランティア協議会会長
	今泉 智博	八幡浜少年ホーム園長
	木下 恵介	八幡浜市公民館連絡協議会会長
	二宮 凡子	八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団委員長
	宮下 栄司	八幡浜市福祉事務所所長
	大森 幸二	学識経験者
監事	堀川 泰久	舌田地区社会福祉協議会会長
	戎 重和	学識経験者
	成見 勇	学識経験者



湯島の里・診察室にて

現在、五反田にある中野医院で副院長をされている中野憲行先生。中野医院の勤務以外に、湯島の里の嘱託医として毎週火曜日に往診をしてくださっています。

中野先生が嘱託医として湯島の里に関わってくださり40年以上。入所者には中野医院をかかりつけ医としている方も多く、この日も往診を心待ちにしている姿がありました。

開業医として地域医療に携わる中で、「昼も夜も患者と連絡が取れなければならない」と携帯電話

養護老人ホーム湯島の里 嘱託医 中野憲行先生が旭日双光章受章!!

は常に持っていたそうです。少し前から、その携帯電話を現院長である息子さんに渡し、夜中に患者からの電話を受けている様子を見て安心していただけたとのこと。家で看取れる環境が大事で、開業医はずっと続けていく必要があるとの想いを語ってくださいました。

「これまで関わってきた人たちの努力があつてこそ今があることを解っておく必要がある」と、真剣さと温かさのこもった眼差しで話してくださいました中野先生。先人の教えに耳を傾けることの大切さなど、ご自身の経験を踏まえた想いや考え方なども伝えてくださいました。

中野先生、貴重なお話とお時間をいただきありがとうございます。そして、旭日双光章の受章、おめでとうございます。





今年度も開講し、2名の方が修了しています。

点訳ボランティア体験講座
点訳ボランティア養成講座は、平成9年にスタートしました。現在は全5回、「点訳ボランティア体験講座」の名称で、まずは点訳のことを知ってもらい、気軽に学べる機会になればとの思いのもと実施しています。

点訳ボランティア体験講座

平成6年に手話奉仕員養成講習会としてスタートしたこの講座は、平成9年に現在の手話奉仕員養成講座となりました。これまで、445名の受講者を迎え、今年も8名の方が受講しています。
令和7年6月4日(水)に開講式を行い、令和8年2月まで全35回の講座に取り組みます。

手話奉仕員養成講座

各種ボランティア養成講座を開講しています

【令和7年度 朗読(音声訳)ボランティア養成講座】

○開催日時 (全10回)

令和7年9月2日(火)～令和7年11月11日(火)

10時00分～12時00分

○開催場所

八幡浜市保健福祉総合センター

○募集人数

10名程度



お申込みはこちら

朗読(音声訳)ボランティア養成講座初級過程
講座のスタートは平成8年、広報や新聞などを録音し、視覚障害者へ情報を提供することなどを目的として開講しています。
引き続き、受講希望者を募集しています。詳しい日程など、ご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

▶ フードドライブにご協力ください!!

「もったいない」を「ありがとう」に

あなたのご家庭に眠っている食品はありませんか？

賞味期限は切れていないけれど、忘れられて保管されたままになっている、または規格外で商品にならないなどの「もったいない食品」を持ち寄り、それらを福祉の団体、地域福祉活動、生活に困っているご家庭などにお届けする活動です。

**寄付につながる
「もったいない食品」**



賞味期限
1ヵ月以上
残ってる

FOOD DRIVE

未開封

規格外商品

ご家庭・企業など

フードドライブ
(社会福祉協議会)

福祉団体・地域・個人

生活福祉資金貸付事業

教育支援資金 のご案内

まずはご相談ください



就学・進学に必要な費用にお困りの方へ

まずは、他の貸付制度もご確認ください。

	貸 付 制 度	相 談 窓 口
高校への進学	愛媛県奨学金資金	在籍する学校
大学等への進学	日本学生支援機構奨学金	在籍する学校
	母子父子寡婦福祉資金	八幡浜市役所 子育て支援課

令和2年度より、新しい修学
支援制度が始まっています
(減免・給付型)。
詳しくは、日本学生支援機構
ホームページをご覧ください。

教育支援資金

※他の奨学金制度との併用が可能です。

就学支度費 (入学に際し必要な費用)	貸付限度額	50万円以内
	貸付期間	入学時に一括貸付(※入学後は利用できません)
	据置期間	卒業後6ヵ月以内
	返済期間	据置期間経過後12年以内
	貸付利子	無利子
	使途内容の例	入学金等入学時に学校へ納入する経費 制服、靴、体操着など入学時に一括して購入するもの
教育支援費 (在学中に必要な費用)	貸付限度額	高等学校 月額35,000円以内(専修学校高等課程含む)
		高等専門学校 月額60,000円以内
		短期大学 月額60,000円以内(専修学校の専門課程含む)
		大学 月額65,000円以内
		※特に必要と認められ、かつ将来計画が明確に定められる場合は 上記金額の1.5倍まで増額可能。
	貸付期間	在学中
	据置期間	卒業後6ヵ月以内
	返済期間	据置期間経過後12年以内
	貸付利子	無利子
	使途内容の例	授業料、学校納入費用、参考書、学用品、交通費

生活のこと、家計のこと、仕事のことなど、生活のしづらさを感じた時、
まずはご連絡ください。電話、訪問、来所など、ご希望の方法でお話を伺います。

お問合せ先：八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL：0894-23-2940